

令和 5 年度 審議会議事録

日時：2024 年 1 月 30 日 10:00～11:00

場所：摂津市環境センター 新館 3 階 見学者室

参加者：審議会委員：尾崎会長、大下副会長、永田委員、前川委員、島内委員、
榎谷委員、阪本（剛）委員、阪本（舞）委員

事務局：西川理事、三浦課長、橋本課長代理

資料：① 令和 5 年度審議会議事次第

② 令和 5 年度摂津市廃棄物減量等推進審議会第 1 回審議会資料

③ 令和 6 年度摂津市一般廃棄物処理実施計画

④ 災害時のごみの出し方ガイドブック

【議事 1：一般廃棄物処理基本計画（2）令和 4 年度の振り返りについて】

事務局より説明。

【質疑応答】

委員：リサイクル率の向上に向け、集団回収の推進について、優先し啓発してもらいたい。
また、集団回収地域としては、市の案内を、集団回収団体が重ねて案内する形となっており、
従前からの住民なら理解できるかもしれないが、転居されて来た方など混乱するのではない
か。

事務局：市としては、集団回収を進めている立場であるので、優先して促進してまいりたい
と考えている。また、集団回収地域などにおいて、混乱させるような案内は良くないためや
り方を考えてまいりたい。

委員：集団回収の制度について、慣例によって取り組んでいるだけの方も多く知っている
ようで知らないと思う。あらためて制度説明など呼びかけてもらいたい。

委員：中学校においてクリーン作戦を実施しているなど、地域でのごみ減量に取り組みも
実施しているが、記載がないように思う。主体ではないので記載しにくいかもしれないが、
載せてもらってもよいのではないか。

事務局：地域との連携は非常に重要であると考えている。主催ではないので記載の仕方は考
えないといけないが検討する。

委員：クリーン作成の主体はどこなのか。5 中地区では開催していないのではないか。最
近、自治会も加入者減や高齢化などにより、実行力が弱ってきていると考える。

委員：教育委員会の地域教育協議会であり、地域で主体的に行っているが、校区によって
構成は違う。5 中校区は実施していないかもしれない

事務局：自治会加入の促進は市全体の課題と認識し取り組んでいる。また、地域での相談や

取組と連携していくため地区担当職員を設けているので相談してほしい。

委員：社会の変化に合わせてコミュニティの在り方を考えていかないといけない。年配の方の活躍の場ということもあるため、部をまたいでの話であると思うが取り組んでいてもらいたい。

委員：身体の不自由な方向けの収集があったと思う。ふれあい収集であったと思うが、最近の増減等の状況はどうか。

事務局：高齢化による要介護など増と施設入所やお亡くなりになられることによる減など、ここ数年はほぼ横ばいか微増であったが、今年度は増加傾向にあると感じている。

委員：計画の進捗状況について、1人1日あたりのごみ排出量などすでに中間目標を達成している指標もあるが、次年度以降もしっかりと数値を見ていく必要がある。また、リサイクル率、事業系ごみ排出量については中間目標、R12年度目標に達するまで、もう少し改善が必要と考えられる。厳しい項目もあるが引き続き取り組んでいてもらいたい。

【その他連絡事項について】

事務局より R5 年度に災害廃棄物処理計画及び住民向け災害時のごみの出し方ガイドブックを策定したため、ガイドブックの内容について説明。